

小川・三面小学校 統合合同検討会会議録（要旨）

【H28. 8. 8 村上市総合文化会館】

参集者：69名

小学校保護者50名、集落区長15名、学校4名

- ・開会
- ・教育長あいさつ
- ・これまでの経過等説明
- ・質疑応答～検討

- 教委 建物面積等、総合的に判断し、教育委員会事務局としては校舎は小川小学校校舎を使用した統合の検討を提案したい。
- 参加者 使用校舎は小川小学校でよいが、統合形態は対等統合でお願いしたい。
- 参加者 校舎は小川小学校を使用するのであれば、校名も含め吸収にしていきたい。
- 参加者 小川小学校での検討会では、小川小学校の方へ三面小学校が入るということで、編入だと理解していた。
- 教委 その時は学校規模や、複式は三面小学校の方ということでそのような話も出たかもしれないが、合同の検討会で話し合われると理解願いたい。
- 参加者 個人の希望としては対等ということであり、全員の意見をまとめたものではない。
- 参加者 小川小学校では前もって保護者と区長会と話し合われ、総合的に吸収でいいのではということになった。
- 参加者 三面小学校は児童数が減ってしまい、運動会もまちづくり協議会との合同で開催している状態である。やはり子供たちのためには吸収も対等も関係なくて、早めの統合が望まれる。
- 参加者 三面小学校は平成12年に荃太小学校と、小川小学校は平成16年に長津小学校と統合して新生となっているが実態はどうか。
- 教委 三面小学校と荃太小学校はどちらも閉校したが校名は三面小学校とした。小川小学校は長津小学校の方は閉校して校歌・校章を新たにして、新生小川小学校となっている。
- 参加者 朝日地区の統合で、猿沢、塩野町の方はどうなっているのか。
- 教委 先般合同検討会を開催して確認されたことは、両校を閉校して統合することである。どの校舎を使用するか、校名等は今後各代表者による合同検討会での検討となる。
- 参加者 小川小学校は朝日地区の他の学校と違い旧地区名でのものでなく、地名から来ているものであるから、特に変える必要はないのでは。
- 参加者 三面小学校は今複式となっているが、これを通常のものにするための手当等はどうなるか。
- 教委 統合となった場合、その1年前から加配教員が配置され、教頭、教務主任と一緒に授業改善や子どもたちの様々な不安解消に対応していく。
- 参加者 以前の統合問題の時は行政主導の考え方、方針をもって進められた経緯もある。
- 参加者 一番は子どもたちの環境改善である。統合形態よりも早急な統合での解消を図るべき。
- 参加者 小川小学校は130年を超える長い歴史を持っており、ここで閉校となるのは出来れば避けたい。

参加者 閉校関係に手を煩わせるのではなく、その分両校の交流授業や活動に力を注ぐべきではないか。

参加者 先ほどから話が出ている、子どもたちのために早急にハンデキャップを取り除くため統合を進めるべきだ。

校舎は小川小学校を使用し、小川小学校は閉校しないことで参加者の総意は確認された。

・閉会